

事業所数 19社
被保険者数 1,693人
被扶養者数 1,755人

すゝやん

No.154
2020

神戸新聞健康保険組合

神戸市中央区東川崎町1-5-7

☎(078)362-7166

2019年度健保決算

2年続けて黒字

神戸新聞健康保険組合の「2019（令和1）年度収入支出決算」が8月末、確定した。コロナ禍の今年は書面審議による組合会とし、全員一致で承認された。経常収入は10億3809万円（前年度比395万円増）、経常支出9億5134万円（同1億621万円増）で、経常収支は8675万円の黒字となった。黒字決算は2年連続。高齢者医療制度を支えるため国に拠出する納付金のうち、前期高齢者納付金が前年の反動で同7138万円増、医療費に当たる保険給付費が同2778万円増と大幅に増えたが、保険料収入も順調に伸びたことから、なんとか収入内で納まった。

一方、経常外も加えた総決算収支は1億7076万円の黒字。当初予算が約5000

万円の赤字だったため、財産（別途積立金）から切り崩した5000万円を収入に繰入れたほか、高齢者医療円滑運営補助など国からの補助金3400万円も寄与した。

保険料収入順調に推移

経常収入の柱である保険料収入は、10億2991万円（同447万円増）。算出根拠となる平均被保険者数は1686人で、前年より9人減。育児免除者分を除く平均標準報酬月額が51万5058円で、同3380円増。総標準賞与額（年間）は6億1308万円で、同910万円増だった。保険料率は9・5%据え置いた。

その他施設利用料収入は394万円（同4万円増）。定期

◇2019年度収支決算表（単位：千円、▲はマイナス）

| | 主な項目 | 2019年度 | 2018年度 | 増減 |
|----|------------------|-----------|-----------|----------|
| 収入 | 経常収入 A | 1,038,094 | 1,034,141 | 3,953 |
| | (内訳) 保険料収入 | 1,029,911 | 1,025,439 | 4,472 |
| | その他収入 | 8,183 | 8,702 | ▲519 |
| | 経常外収入 B | 98,063 | 38,350 | 59,713 |
| | 総収入 A+B | 1,136,157 | 1,072,491 | 63,666 |
| 支出 | 経常支出 C | 951,344 | 845,125 | ▲106,219 |
| | (内訳) 保険給付費 | 430,025 | 402,236 | ▲27,789 |
| | 納付金 | 440,813 | 361,016 | ▲79,797 |
| | ・前期高齢者納付金 | 208,323 | 136,937 | ▲71,386 |
| | ・後期高齢者支援金 | 232,466 | 222,065 | ▲10,401 |
| | ・退職者給付拠出金 | 23 | 2,013 | 1,990 |
| | ・老人保健拠出金 | 1 | 1 | 0 |
| | 事務費 | 43,417 | 45,315 | 1,898 |
| | 保健事業費 | 32,276 | 31,919 | ▲357 |
| | その他支出 | 4,813 | 4,639 | ▲174 |
| | 経常外支出 D | 14,051 | 14,223 | 172 |
| | 総支出 C+D | 965,395 | 859,348 | ▲106,047 |
| | 経常収支 A-C | 86,750 | 189,016 | ▲102,266 |
| | 収支決算 (A+B)-(C+D) | 170,762 | 213,143 | ▲42,381 |

前期納付金が反動で大幅増

経常支出9億5134万円

健診費用を2年前から全額事業主に振り替えており、ここでは人間ドックやがん検診などの自己負担分等を計上している。

（同1億621万円増）は前年から大きく膨らんだ。主なものは納付金が4億4081万円（同7979万円増）。保険料収入に占める納付金の割合は42・8%。前年の35・2%から一気に膨らんだ。

内訳は前期高齢者（65～74

（同7138万円増）の大幅増。前期高齢者納付金額は、

2年前の保険給付実績に大きく左右される。前年度の納付金はここ数年では最も低額だったことから、その反動ともいえる。

後期高齢者（75歳以上）支援金は2億3246万円（同1040万円増）だった。

保険給付費は4億3002万円（同2778万円増）。

内訳は高額療養費が904万円増。家族も含めた療養費が1094万円増、家族も含めた薬剤費が357万円増など。逆に、家族も含めた出産育児一時金292万円減と減少した。

保健事業費は3227万円（同35万円増）。内訳は疾病予防費が3035万円（同42万円増）、保健指導宣伝費が123万円（同8万円増）、特定保健指導事業費55万円（同11万円減）など。

このほか、事務費が4341万円（同189万円減）。事務所経費の節減が寄与した。

年々深刻な 介護負担金

次に、介護保険勘定。収入1億3771万円（同1149万円増）、支出1億3506万円（同1465万円増）で、収支差額は264万円（同315万円減）となった。

2019年度平均の被保険者たる第2号被保険者数は1629人（同40人増）。内訳は被保険者1119人（同39人増）、被扶養者510人（同1人増）。一方、平均標準報酬月額（育休保険料免除者含む）は59万6241円（同1422円減）だった。

介護勘定の収支は、国から割り当てられた介護納付金額がそのまま支出額となる。それを賄える額を収入額とし、逆算で保険料率が決まる仕組み。

同年度保険料率は15・8%で、事業主と被保険者が折半して7・9%ずつ負担した。

2020年春季定期健診結果（速報）

受診率は88・9%

コロナ影響で伸びず

全員受診は7事業所

「2020年度春季定期健康診断」の受診率（アルバイト等未加入者も含む）は手元集計の結果、88・9%だった。直近の19年秋より4・7ポイント悪化、同年春季より5・0ポイント悪化した。

コロナ禍の今期は人間ドックを含め受診期間を例年の4ヶ月から、4〜7月に延ばしたものの、受診率は伸びず、13年秋から13期にわたって続いてきた90%超えの記録もストップした。

受診率100%を達成したのは、サン神戸、興産、総合折込、文化財団、厚生事業団、地域創造、新聞会館の7事業所。19年秋より1事業所減った。

ただし、被保険者に限ってみれば、輸送センターも100%を達成している。

（注）神戸中央病院より9月末現在、最終の確定値が返っていないため、今回は手元集計としました。

◆2020年春季定期健診受診率

| | 対象者 | 受診者 | 受診率% | (19年秋) | (19年春) |
|---------|----------|-------|-------|--------|--------|
| 神戸新聞 | 816 | 782 | 95.8 | 96.8 | 95.9 |
| | 被保険者 788 | 765 | 97.0 | 98.2 | 97.1 |
| | 未加入者 28 | 17 | 60.7 | 52.0 | 56.0 |
| 輸送センター | 71 | 63 | 88.7 | 100.0 | 88.5 |
| | 被保険者 48 | 48 | 100.0 | 100.0 | 97.9 |
| | 未加入者 23 | 15 | 65.2 | 100.0 | 53.8 |
| 神戸新聞事業社 | 78 | 59 | 75.6 | 97.4 | 100.0 |
| KCC | 37 | 35 | 94.5 | 100.0 | 100.0 |
| 健保組合 | 3 | 2 | 66.6 | 100.0 | 100.0 |
| ラジオ関西 | 52 | 51 | 98.0 | 96.2 | 98.1 |
| サンテレビ | 157 | 121 | 77.0 | 89.3 | 91.5 |
| DS | 75 | 68 | 90.6 | 92.0 | 98.5 |
| サン神戸 | 19 | 19 | 100.0 | 89.5 | 100.0 |
| 総合印刷 | 199 | 158 | 79.3 | 80.1 | 84.0 |
| | 被保険者 152 | 150 | 98.6 | 100.0 | 99.3 |
| | 未加入者 47 | 8 | 17.0 | 2.6 | 19.4 |
| 神戸新聞興産 | 21 | 21 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 総合折込 | 34 | 34 | 100.0 | 97.2 | 97.1 |
| 文化財団 | 4 | 4 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 厚生事業団 | 3 | 3 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 京阪神エルマガ | 81 | 73 | 90.1 | 97.4 | 96.2 |
| 地域創造 | 34 | 34 | 100.0 | 90.9 | 97.0 |
| | 被保険者 32 | 32 | 100.0 | | |
| | 未加入者 2 | 2 | 100.0 | | |
| 新聞会館 | 15 | 15 | 100.0 | 100.0 | 92.9 |
| DSクオリティ | 48 | 36 | 75.0 | 100.0 | 100.0 |
| 任意継続 | 52 | 23 | 44.2 | 67.6 | 61.5 |
| 合計 | 1,799 | 1,601 | 88.9 | 93.6 | 93.9 |

「秋の定期健康診断」 10月実施、全員受診を

神戸新聞グループの全従業員を対象にした「2020年度秋季定期健康診断」を、10月に行います。全員もれなく受診されますよう、お願いします。日程は以下のとおりです。

◎西神製作センター

10月6日・9日、午後3時から。(女性は6日午後2時半・同3時のみ)

◎阪神製作センター

10月19日、26日の午後3時半から。(女性は19日午後3時半・同4時のみ)

◎サンテレビジョン

10月22、23日の午前10時、午後1時半から。

◎神戸新聞本社

10月26・30日、午前9時半、午後1時半から。(女性は26日午前と、27日午後1時半・同3時半、28、29日午後3時半・同5時)

なお、9、10月中の間ドック受診者は、この結果をもって秋の定健の代用とできます。受診結果表のコピーと問診票1、2を併せて、健保組合まで提出して下さい。

メンタルヘルス相談
専用ダイヤル
0120-370738
月～土曜日10:00～22:00
(祝日・年末年始を除く)
相談料・電話料 無料

互選議員の交代

神戸新聞・テイリースポーツ労働組合の役員異動に伴い、神戸新聞健康保険組合・互選議員(理事・議員)の交代が以下のとおりありました。新議員の任期はいずれも2021年9月20日までです。(敬称略)

| | |
|--------|-----------------------|
| 〈互選議員〉 | |
| 理事 | (旧) 齊藤 章平 ↓ (新) 三浦 拓也 |
| 同 | (旧) 直江 純 ↓ (新) 篠田 諭 |
| 議員・監事 | (旧) 平井麻衣子 ↓ (新) 齊藤 雅也 |
| 議員 | (旧) 黒岡 浩二 ↓ (新) 平井麻衣子 |
| 同 | (旧) 齊藤 達也 ↓ (新) 上杉 順子 |

◆ジェネリック差額通知配布

処方された薬品をジェネリック薬品に切り替えた場合、自己負担額が年間5千円以上の差額が生じる人を対象に、12月1来年1月に「ジェネリック差額通知書」を配布します。

◆乳がん対策に自己検診手袋配布

女性の節約と、健保組合の医療費削減のため、ジェネリック医薬品の活用にご協力ください。

女性被保険者に12月、乳がん自己検診手袋「プレストケアアグラブ」を配布します。乳がんは早期発見で治療する可能性が高くなっています。配布を機に、乳がんに対する理解を高めてもらい、早期発見、早期治療につなげていただければ幸いです。

薬は、新薬(先発医薬品)とジェネリック医薬品(後発医薬品)の2タイプがあります。ジェネリック薬品は特許期限が切れた後に製造され、先発医薬品と同じ成分・効き目があります。

皆さんの医療費(薬代)負

公告

健康保険法第47条第2項に規定する神戸新聞健康保険組合の2020年9月30日現在の平均標準報酬月額を次のとおり、公告します。

平均標準報酬月額 30等級 500,000円

退職後、任意継続者として神戸新聞健康保険組合に加入されている方は、平均標準報酬月額または当人の従前の標準月額のうち、いずれか低い額で算出します。適用は2021年4月からです。 以上